AICJ Newsletter

2017
1月
Jan

AICJ中学・高等学校　〒731-0138　広島市安佐南区祇園3丁目1-15　TEL:082-832-5037

本校は、２００９年に西日本初の国際バカロレア（ＩＢ）ＤＰ認定を受けた一条校で、生徒はグローバル社会のリーダーを目指し、学内外で様々な活動に取り組みます。

画家　中島　健太氏　来校

１Fロビーに、左の写真のような縦2メートルを越える大きな絵画が寄贈されました。この度、この作品の作者である中島健太氏が来校され、お話を伺う機会に恵まれました。絵画は、遠く水平線の向こうに入道雲を配しながらも、どこか夏の終わりを感じさせるような、砂浜から臨む海の景色が描かれています。中島さんからは「若い感性を持った生徒の皆さんに、自分なりの受け止め方をして欲しい」というお言葉をいただきました。

写真左から
画家
中島　健太さん
生徒会長
大島みずきさん

新校舎の玄関ロビーにて
タイトル
「匿名の地平線-Ver Blue-」

生徒会長の大島さんから
中島さんへの感謝の手紙より
（一部抜粋）

この度は、私たちにこのような美しい絵画に触れるチャンスをいただき厚くお礼申し上げます。

ひとつひとつの繊細な筆致と色使いは、確かに筆によって描かれたもので、写真ではなく絵画であることの意味を考えさせられました。

「匿名の地平線」という作品タイトルも興味深いです。実は「Horizon」という場所へは私たちがどこまで前進しても決して到達することはできません。それは、新たな目標を掲げては前進し続ける私たちの目の前に永遠に広がる景色なのでしょうか。また、水平線の向こうには大陸も存在します。世界中に活躍できる場所を見つけようとしている私たちは、この「水平線」の向こうに「未来」も感じることができます。

私たちは、毎朝登校時にこの絵画を見て、自分たちの「未来」を感じながら一層精進して参ります。

《英語版》平和公園で平和都市広島紹介パンフレット配布

毎年恒例となっている、平和公園で中学生が作成したパンフレットを海外からの観光客へ配布するボランティアを、今年も行いました。参加者は複数人でグループを組み、平和公園内を歩き、出会った外国人の方々にパンフレットを渡していきます。もちろんただ渡すだけではなく、出身国、滞在期間、広島について等、様々なお話をし、最後に一緒に写真を撮ってもらいます。パンフレットがあっという間になくなったので、その後は、折り鶴の折り方を説明して回ることにしました。話しかける際、初めは多少の緊張があったようですが、徐々に慣れていき会話を楽しむことができました。見知らぬ海外の方に、「広島」を知ってもらうために、積極的に英語を使ってコミュニケーションを図るこの活動は、校内ではできないものであり、貴重な経験になりました。

インドからの団体ツアー客の人たちと
記念撮影

《ＪＩＣＡ》海外青年協力隊（キルギス派遣）の方の講演

青年海外協力隊で活躍されている片山美弥さんの講演会があり、中学3年生に派遣先のキルギスと協力隊での活動内容をお話して頂きました。英語圏ではなく、キルギス語やロシア語が公用語として使われている現地での経験は留学を経験した生徒にとっても新鮮なものだったようです。「世界で活動する時には、自分の考えだけでなく、それぞれの場所での考え方や常識を知り、それに適応して行動することが大事なのだと気付けた」という生徒の声もありました。今後の自分たちの将来を考える上で、大変良い経験になりました。

片山さんのプレゼンテーション

キルギスからの折鶴を
広島の平和公園へ

講演後、生徒たちはキルギスについてリサーチし発表しました。

日本航空《ＪＡＬ》パイロットの方の講演

ご講演いただいた佐伯さん

日本航空（JAL）パイロットの佐伯俊輔さんにご来校頂き、中学1年～3年生までの生徒へパイロットというお仕事について、また、将来の夢に関して講演をして頂きました。普段知り得ないコックピットからの風景や飛行機の仕組み、どのようにしてパイロットになるかなど、講演中のお話だけでなく質疑応答の時間も大変盛り上がりました。女性パイロットもいらっしゃるという話を聞き、女子生徒も将来の選択肢が広がったようです。英語を日常的に使う職業と聞き、英語学習に対するモチベーションが上がりました。

質問する生徒

《ＰＴＡ有識者講演会》　ピーター・フランクル氏　来校

得意のジャグリングをしながらの登場に、会場が沸きました。今回は、「真の国際人になるためには」というテーマで講演していただきました。望ましい「国際人」の資質として、「寛容」というキーワードを用いられていました。昨今の「国際人＝英語ができる人」という構図に疑問を抱き、真の国際人とは、異なる言語、習慣、宗教をもつ人に対して、恐怖や偏見を抱かず、心を開く人だとお話されました。

また、コミュニケーションで大切なのは、「聞く」ことであると語られました。聞くことは、自分と経験や物の見方を異にする人の考え方、感じ方を知ることであり、それが人生を豊かにする糧になると言われていました。これは、AICJの求めるLearner Profile(理想の学習者像）の中のOpen-minded（心を開く人）とCommunicators（コミュニケーションができる人）と重なるものでした。